

## クラスの中での学習支援員

- 学級で困っている子どもたち
- LSA(学習支援員)の役割とは
- LSA体験記

～気づきの手がかかり

- LSAから教員免許を取って教師に
- 現役LSA

- LSAから特別支援教室の専門員に
- LSAが付いたことがある児童の保護者



通常の学級では、さまざまな個性をもった子どもたちが、同じ空間でともに学びあっています。発達凸凹のある児童生徒は、日々目に見えない壁にぶつかっていますが、周辺の適切なサポートにより自分で学んでいく力を身に付けることができます。学習支援員(LSA)は、学校の教室で担任の先生と協力して、このような子どもたちの学習を支援します。どなたでも参加できます。

# 7月17日(月・祝)

## 9:50～16:00 (9:30開場)

### 会場：川崎市生涯学習プラザ

公開講座 1日3,000円



JR南武線武蔵小杉駅 西口より 徒歩12分  
 東急東横線武蔵小杉駅 南口より 徒歩10分  
 東急東横線元住吉駅 西口より 徒歩10分

【お申込み】NPO EDGE ホームページ

【LSA(学習支援員)養成講座受講】

HP検索・・・EDGE LSA 申し込み

### 第1部 9:50～11:20

- 学級で困っている子どもたち
- ～気づきの手がかかりとは

NPOらんぷあんぷらざ 理事長  
**安藤壽子**



学習支援員は、授業等の集団活動場面を通して「子どものもつ困難さ」に気づく必要があります。授業中の行動観察、児童生徒の作品やノート、学級担任の記録等により、児童生徒の学習・生活の実態と教育的ニーズの把握を行うことが求められるのです。本講義では、①集団場面での実態および教育的ニーズの把握、②認知特性と困難さの要因との関連付けについて考えます。

博士(教育学):専門は発達障害児の教育・LD(読み書きの障害)  
 ・資格:学校心理士、特別支援教育士スーパーバイザー(SENS-SV)  
 ・職歴:横浜市小学校(教諭、副校長)、横浜市教育委員会(特別支援教育課長)お茶の水女子大学(学校教育研究部教授)を経て現職。

### 第2部 11:30～12:30

- LSA(学習支援員)の役割とは

NPO EDGE会長  
**藤堂栄子**



LSA(学習支援員)の役割について学びます。行政区や学校によって求められる役割は多少ちがいますが、基本的に児童生徒が自律的に学校生活を送ることができるための支援を行います。また、学習は机上の読み書き計算などに限定せず、生活全般の中での支援を目標としています。

星槎大学特任教授、NPO法人エッジ会長。元JDDnet 副理事長。NPO法人エッジを2001年に設立、現在に至る。読み書きの困難があるディスレクシアの啓発と支援とネットワーク作りを実践してきた。2005年より東京都港区にてLSA(学習支援員)の育成と配置を実践した。LSA養成講座を全国に広げている。アジア太平洋地域におけるディスレクシアのネットワーク作りに尽力。

### 第3部 13:30～15:50

- LSA体験記

- 現役LSAをはじめ、LSAから教師になった方・特別支援教室の専門員になった方・お子様がLSAについてもらった方 4名それぞれのご体験を伺います。

主催 NPO法人EDGE・NPO法人星槎教育研究所  
 後援 星槎大学エクステンションセンター